

兵庫県境シリーズを終えて



兵庫の山は私たちの故郷であり原点であります。ここで鍛えられアルプス方面の山に出かけていました。氷ノ山は今も冬山入門として人気の山です。

ずいぶん昔、氷ノ山→扇ノ山、氷ノ山→三室山を縦走したことがあります。雪が無いと縦走できないコースです。そして4年前に三室山に登った時、後山まで続く山並みを眺めていて県境縦走の続きをしてみたい思いがふと湧いてきました。後山まで

行かないと「縦走は終わらない・・・」そんな思いが心の中で大きくなってきました。

その後、骨折などがありようやく今シーズンに実現することができました。

12月峰越峠より三国平まで偵察しリボンを付けておきました。

そして竹呂山の登山口、大通峠付近を車で偵察を行いました。

1月兵庫県側の駒の尾山登山口より大海里峠の県境に出て、駒の尾山～後山に登り鍋ヶ谷林道に下山。樹氷が見事でスノーシューでトレースを付けて行く楽しみがありました。



1月駒の尾山



1月天兒屋山

また、ちくさスキー場から峰越峠～三国平～天兒屋山まで県境を往復し、まったく人に会うことも無く静かな雪山を楽しみました。スノーシューとGPSが威力を発揮した登山になりました。

2月三室山から南側に派生する尾根にある竹呂山～三室山～大通峠をラウンド。標高700mほどの登山口は雪が少なめで、急登が続く竹呂山まで登りづらい。三室山から大通峠までの県境は総体的に下りで、下り始めはスキー場のような広い斜面で樹氷も綺麗でした。



2月三室山

最終章3月は三室山～後山までの縦走です。距離的にも長くなるので峰越峠でテント泊にしました。3月に入ると暖かくなり歩き易くなるが雪解けが進みます。後山からの下降ルートがポイントになりました。コンパスと地図で地形を読み歩く最もシンプルな登山が楽しめました。



3月地形を読む

今回のシリーズは好天にまったく恵まれず雄大な展望が望めませんでした。その視界不良でルートファインディングが重要になり読図力が求められる山行になりました。トレースが無くほとんど人に会うことも無い山では地形を読む能力が必要になります。身近な兵庫の山は、アルプス的な派手さは無い山ですが、ある意味登山者としての技量を鍛えられる絶好のフィールド

と言えます。参加して頂いた皆さんありがとうございました。来シーズンも継続していきたいと思っています。

2012.03.24 南山 房啓